

問2. 公共交通機関を利用する長所として下の中で当てはまらないものはどれでしょう。

- ①環境に優しい ②事故が減る ③交通渋滞の状態を和らげる  
④生き生きとした生活が送れる ⑤移動時間が長い

答え ⑤移動時間が長い

解説 ①: CO<sub>2</sub>の排出量はバスであれば自動車の3分の2、電車では6分の1になるため。

②、③: 道路の交通量が減り、通勤時間帯などでの渋滞の緩和ができ事故を減らすことができるため。

④: 徒歩での移動時間が短い車に比べ、歩く機会が増えて日常的に運動量が増えるため。

以上の理由から①②③④は公共交通機関を利用する長所にあてはまる。

出典 広報ごか 12月号 (2016) 生活安全課くらし安心G公共交通の4つのメリット

[https://www.town.goka.lg.jp/data/doc/1511319313\\_doc\\_41\\_5.pdf](https://www.town.goka.lg.jp/data/doc/1511319313_doc_41_5.pdf) 2019年7月16日

問3. 内閣府の資料によると公共交通機関利用者が不満に思っていることとして一番多いものは下の中でどれでしょう。

- ①自宅や目的地から駅・バス停が遠い ②車いす・ベビーカーでの移動が困難  
③運行本数が少ない ④運賃が高い

答え ①運行本数が少ない

解説 1位: ①運行本数が少ない 32.2%

2位: ②自宅や目的地から駅・バスが遠い 17.7%

3位: ④運賃が高い 15.7%

4位: ③車いす・ベビーカーでの移動が困難 13.6%

出典 内閣府 (2015) 平成28年度公共交通に関する世論調査

<https://survey.gov-online.go.jp/h28/h28-kotsu/index.html> 2019年7月16日

問4. 内閣府政府広報室の資料によると、公共交通機関ではなく自動車などを利用する理由として一番多いものは下の中でどれでしょう。

- ①車いすやベビーカーで移動しにくいから ②駅やバス停が遠いから  
③利用できるバス停や駅が地域にないから ④早く目的地に着くから

答え ④早く目的地に着くから

解説 1位: ④早く目的地に着くから 60.9%

2位: ②駅やバス停が遠いから 21.3%

3位: ③利用できるバス停や鉄道が地域にないから 17.9%

4位: ①車いす・ベビーカーで移動しにくいから 3.6%

出典 内閣府政府広報室 (2015) 公共交通に関する世論調査の概要

<https://survey.gov-online.go.jp/h28/h28-kotsu/gairyaku.pdf> 2019年7月16日

問5. 国土交通省の資料によると過疎地域の人々の公共交通機関の利用のしやすさについての満足度はどれくらいでしょう。

- ① 4.5% ② 6.2% ③ 16.0% ④ 48.0%

答え ②6.2%

出典 国土交通省 地域交通の現状と課題

<http://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h20/hakusho/h21/html/k1132000.html> 2019年7月16日

問6. 内閣府の資料によると公共交通機関の安全性をどう感じている利用者が多いでしょう。

- ①向上している ②低下している ③変わらない ④わからない

答え ④わからない

解説 平成 23 年～28 年の間に鉄道・バス・タクシーそれぞれの安全性がどのように変化したかを 1899 人に聞いたところ、3 つとも「わからない」と答えた人が 1 番多く、それぞれ鉄道は 55.3%、バスは 59.6%、タクシーは 62.7%が全体のうちを占めた。

出典 内閣府 (2015) 平成 28 年度公共交通に関する世論調査

<https://survey.gov-online.go.jp/h28/h28-kotsu/index.html> 2019 年 7 月 16 日

問 7. 国土交通省の資料によると公共交通機関のバリアフリー化についての現在の満足度はどれくらいでしょう。

① 2.2% ② 32.7% ③ 59.0% ④ 71.5%

答え ①2.2%

出典 国土交通省 地域交通の現状と課題

<http://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h20/hakusho/h21/html/k1132000.html> 2019 年 7 月 16 日

問 8. 問 7 の続きよりバリアフリーを必要としている人たちの割合はどれくらいでしょう。

① 19.2% ② 37.9% ③ 45.1% ④ 77.3%

答え ③45.1%

出典 国土交通省 地域交通の現状と課題

<http://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h20/hakusho/h21/html/k1132000.html> 2019 年 7 月 16 日